





地球の精は、ガタガタとふるえている。  
あつくなって服をぬいだんだ。  
そしたら急に寒くなった……。



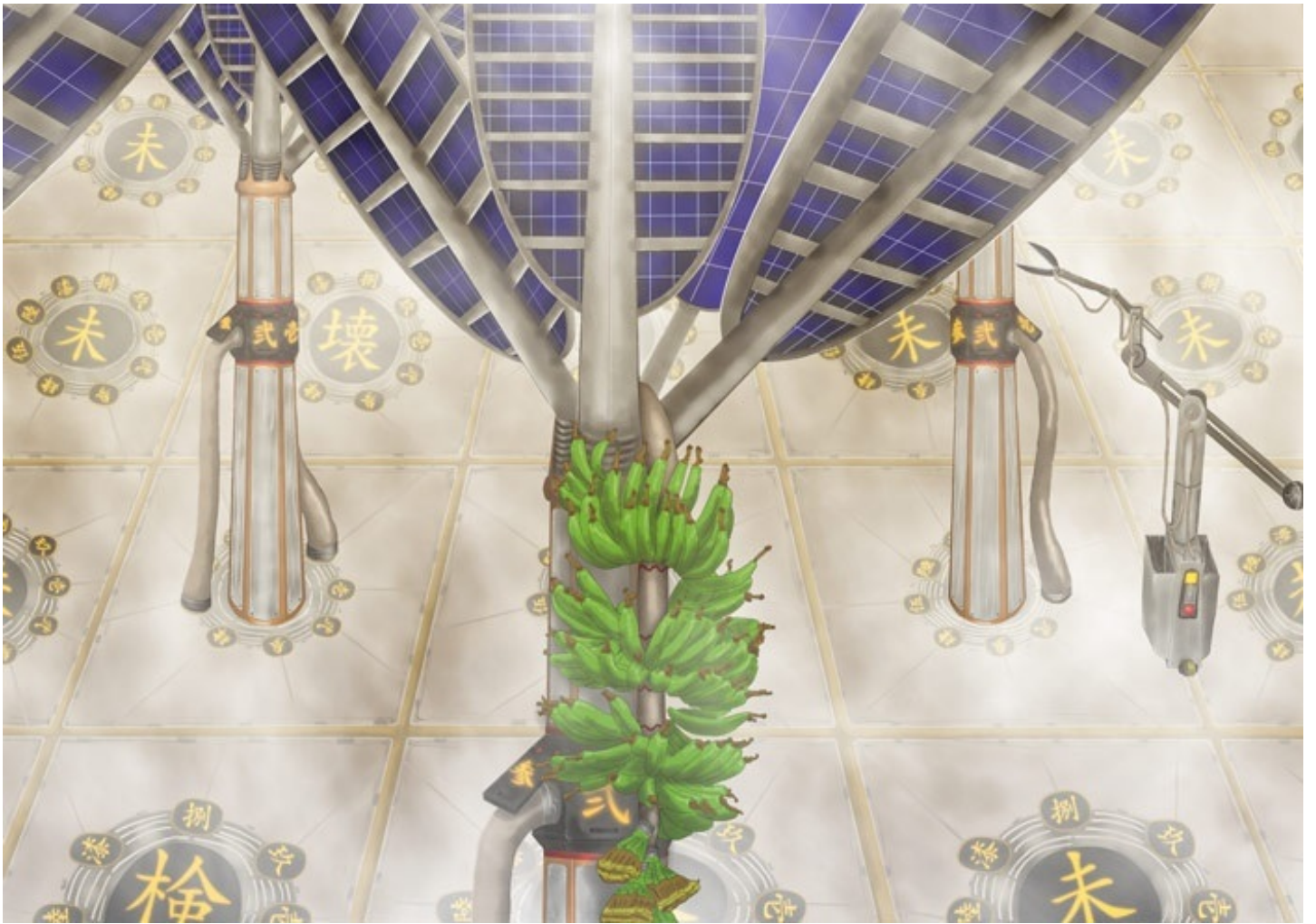
「なに、全部、わたしのせいっていいたいの？  
わかってるわよ、そのくらい。  
ペットボトルやビニール袋にしたって、  
その辺にすてれば、ただのゴミ」



「全部とはいわないけど、少なからず  
わたしたち人間が一人一人自覚をもつべき。  
ゴミ箱に捨てるくらい訳ないのに」



「雨がふれば、洪水。晴れば猛暑の連続。  
この異常気象なんとかならないの？」



「地球環境破壊が原因かしら。

でも、その原因は、元はと言えば人間よね。

十九世紀産業革命以来、地球破壊は悪化する一方だった。

これもいうなれば産業革命の遺産だね」



「人も光合成ができれば、こんなことにならなかったのかな。  
足から栄養分とって、体全体で二酸化炭素を酸素に……」



I'm King of the world !





「そうよね。もっと地球を大切にしなきゃね」  
「これからは、もっと地球を愛しちゃう」  
「いろいろ話せて楽しかったよ。地球さん」



ハーックション！